

23/6/15（木）名古屋市議会経済水道委員会（前半）
名古屋市民オンブズマンによるメモ

委員長 田山宏之(減税・北区)：はじめる

佐治局長：当局の発言について

一部の参加者から差別発言を含む不適切な発言
申し訳ございません。
当局の対応を報告
総務課長から

遠藤総務課長：説明する

目的
当日
市民の反応 市民からの意見 件数と割合
今後の対応 まとめた

委員長 田山宏之(減税・北区)：質問があれば

浅井正仁(自民・中川区)：総務環境委員会

傷つけられた人の立場に立てば侵害
財政福祉委員会「結果的に不適切」
観光文化交流局長 どうするのか

佐治局長：両委員会を踏まえた見解

冒頭のあいさつとかぶる
市主催 有効な対策 当日、事後対応
人権希薄 深く反省
参加者、中継傍聴者には重ねてお詫び
障害者団体 抗議活動
第三者検証委員会設置を求められている
総務環境 人権侵害される深刻な状態
全体を検証をする必要
財政福祉委員会 法令に反する点、
市民の分断 不適切であった指摘 重く受け止める
関係局と連携 障害者からの信頼回復に全力

浅井正仁(自民・中川区)：そういうことを聞きたいのでは無い
真摯は当然
討論会の内容 局として人権侵害、障害者差別に当たるのか

佐治局長：失礼しました
当日現場にいた 両方委員会質疑 速記録読み返した
発言は人権侵害、障害者差別に当たる

浅井正仁(自民・中川区)：討論会で「人権侵害、障害者差別に当たる」と
局長は考える
被害者にお詫びは どういうアプローチ
まだしていない？

佐治局長：6月7日だったと記憶
差別的に発言 所属している団体を訪問
体調不良
本人宛に文書で気持ちを伝えた

浅井正仁(自民・中川区)：会ってお詫び
心のダメージ
今回の討論会 僕も違和感
いままで港文化小劇場 鯨城ホール、抽出されて無くても
一般の人どうぞ
その場ではここまで酷い対立は出なかった
なぜ今回 抽出した人
ウェルカムだとでなかった 当時佐治所長 違和感

佐治局長：過去何度か市民説明会に出席
こんな発言は無かったと記憶
発言 原因が分析できていない

浅井正仁(自民・中川区)：たまたま障害者の方1人
もし障害者がいなかったら声は説明ではひよっとしたら聞けなかった
これが公平か？

佐治局長：無作為抽出 5000人市民アンケート
広い意味での縮図

障害者 出席しなかった場合
なんども直接対話 そういった部分 把握している

浅井正仁(自民・中川区)：そんならやらなくてもよい
アンケート 47% 5階まで
やる必要はこれっぽっちも無い
なんのためにやった？

佐治局長：今回の開催目的
復元する 広く市民の声

浅井正仁(自民・中川区)：今回の討論会
冊子もらえた 1階までつけるとか全然入っていない
写真だけ 「エレベーターつけるとこんなに悪くなる」
説明 最低でも1階 聞き取れなかった
まずは1階までは付ける
2階からはがんばります これまでの提案
説明してはじめて市民討論会
「ひょっとしたらつけないかも」

佐治局長：浅井委員の指摘通り
参考資料、当日資料 どんな技術、どう活用
議論の前提 最低限昇降装置を付ける
最低要求水準 大きな反省点

浅井正仁(自民・中川区)：「なぜ1階まではつけます」はっていない
あたかも印象操作したかったのかも
「100年後には国宝」「史実に忠実」
エレベーター、バリアフリーの検討会議
そこが飛ばされて
決まったものを提示する
決まってないものをだして想像で話
8月の復元検討委員会に間に合わせるため？
また順番を飛ばすわけ？
局長大分懲りているでしょう？
第三者委員会 一言いいたい
総務環境委員会 検証委員会を立ち上げる

ぜひとも検証

スポーツ市民と協力

いろんな方入れる あくまでも名古屋市に関係ない人 人選

そうしないと何の検証かわからない

日弁連 人選や愛知県人権擁護委員会

人権、差別の話

第三者委員会 適正、公平な方にジャッジしてもらうように

局長よろしいか

局長ではなくスポーツ市民に仕切ってもらう

佐治局長：局としてもさらに検証する必要

総務環境委員会を踏まえ、スポーツ市民局、健康福祉局

関係局と連携して

浅井正仁(自民・中川区)：いったん終わる

服部将也(民主・北区)：差別的発言を受けた人

差別用語だけでは無い

明確に差別的発言はわかる

身体障害者に対する差別 社会全体の問題

およそ40年ほど前

本市会 昭和56年3月4日 差別用語について取り上げた

「不快用語」 条例に使われていた

→総務局長 速やかに改正

国の動きと合わせて

行政として差別を無くしていく

差別の無い社会を作っていく 宣言の答弁

以来40年 意識は変わっている

こうした表現を使う人がいる 重く受け止めないと

議員も 市民も我がこととして受け止めて

全庁的な取り組み 大きな教訓

佐治局長：過去のこと 貴重な意見いただいた

今週月曜 副市長以下の会議

名古屋市差別

庁内会議

いろんな資料を含めて重要さ、

局の研修を含めて実効性ある取り組みを

服部将也(民主・北区)：市の職員の人権意識が低いとは思っていない
研修、意識が低いとは思わない 欠けている部分
不測の事態 対応力だと思う
どうするのか どれが正しい道なのか
頭の中でシミュレーションが大事
討論会運営 業者委託
いいというわけではなく、責任は市
委託業者 人権に関する意識共有 大きな要素
市民の皆さんも含めて 業者の問題でもある
意識共有はかられていたか

小鹿主幹：今回のアンケート、討論会
運営事業者に委託 実施
仕様書に「障害者差別に関する仕様書」
差別解消法、条例、対応要領に沿って
主に不当な差別的取り扱い、合理的配慮
障害別に応じた対応
会場運営 市と運営事業者で車いす来場者
どこにお座りいただくか
バリアフリートイレの確認
要約筆記 手配した そのような対応確認準備
今回わたしどもの不手際 差別発言
事態が起こった場合にどう対処するか 事前の打ち合わせがなかった
市側反省する

服部将也(民主・北区)：申し合わせ

小鹿主幹：障害者差別に関する特記仕様書

服部将也(民主・北区)：契約で大切
守らないといけない
守ってくれるだろう 事前に詳細打合せは

小鹿主幹：事前の打ち合わせ 守ってくれるだろう認識では無い
参加者にどう対応するか 事前にしっかり打ち合わせした

服部将也(民主・北区)：結果的に十分ではなかった

ぜひ教訓にして 観光文化交流局だけではない

全庁的にしっかりすすめて

各局共有して

21世紀を迎えて23年 人権の意識 本来は成熟している時代であるべき

シンボルであるべき名古屋城をめぐって基本的なことを議論 残念

大きな教訓 今後取り組みを進めて

第三者委員会 効果的なものになるように

さわだ晃一(公明・西区)：スポーツ市民局が中心となって検証する

検証を終えるまで、バリアフリー進むべきではないと思うが

佐治局長：一連の事件の検証が終わるまでは事業は前に進めないと思っている

さわだ晃一(公明・西区)：財政福祉委員会で差別的発言の範囲が確定。

結果的に不適切にな状況になったと健康福祉局長から答弁があった。

この前の委員会「聞こえなかった」発言 委員長、市長

どこからどこまで聞こえなかった 限定したい

バリアフリー取り組み 資料でつけてもらった

今回添付資料 様々な取り組み 並べた

中身 市民に公開なされたか

分断を招いた要因 一つとして、情報公開が足らなかったのでは

ここまで丁寧にやったのは知っている 一覧表障がい当事者 協議懇談

どこまで公表できていたか

上田所長：経緯に関して、各バリアフリー検討会議の都度、

議事録、次第等 名古屋城の公式ページで可能な限り公表

こまかい打合せは公表していない

さわだ晃一(公明・西区)：全て詳細を確認出来ていない

こういうことを話し合っている

市民に伝わっていなかった

議事録公開していたとはいえ

感想を

上田所長：ご指摘の通り、議事録等公表だけでは十分ではなかった

さわだ晃一(公明・西区)：本当に悲しい

より上階を目指す昇降

あたかも障害 健常者からみて「また障害者がわがまま言っているのでは」

端的にあらわれた より印象付けられた

非常に不幸なこと

平成30年5月30日 「付加設備の方針」現在も有効ですよ

上田所長：ご指摘の通り

さわだ晃一(公明・西区)：史実に忠実

エレベーター設置せず、地階から1階まではあげる

可能な限り上まで

史実に忠実前提でより上層階

公募が行われている

最低基準が決まっている

絶対にクリアして クリアしないと排除される

加点 より上層階

当局の方針 より上層階

「3階、4階、5階 名古屋市付けていくんだらうな」

間違っているのか

上田所長：ご指摘の通り

さわだ晃一(公明・西区)：敢えて言うが、急遽変わったような

記述、発言があった

事務的にきちんと作業を積み重ねて

仮に積み上げを吹っ飛ばすような政治的判断があった場合

変えないといけない状況 あるのか

佐治局長：大変難しい質問

当時から関わっている 付加設備の方針に基づいて要求水準 公募

審査をして最優秀者

最低1階 より上層階採用

その結果を発表 経済水道委員会 昨年12月5日

市長発言 我々の思いと違う発言

さわだ晃一(公明・西区)：それでも所長

方針まだ生きてる

コンペやってる

外形的 上まで行く 自然

局長「昨年何月記者会見 方針が変わった」？

6/12 検討会議 6/3 市民討論会のあと、知見に基づき決定

スケジュール的に印刷物刷って、委員にも説明、

その場でどんと出す訳じゃ無いはず

どういう資料を大天守内部バリアフリー 出してどう説明したのか

荒川主幹：6/12 検討会議

5月下旬 有識者に事前説明した

6/12 2章石垣等遺構説明した

今後バリアフリー 市民意見を聞く それを踏まえて結果を出す

先生方には全体整備検討会議 事前に資料送付

今回昇降技術は落とした形で送付した

さわだ晃一(公明・西区)：具体的には上層部を目指す 抜けていた？

荒川主幹：昇降技術 まるごと除いた

さわだ晃一(公明・西区)：手元に持っている

そういう説明は行き着かない 整合しない

荒川主幹：バリアフリーのところ 3月24日全体に諮っている

今現在の最終的なもの

1階まで それ以上は今後検討

2階以上 1階までとなることを含めて説明

さわだ晃一(公明・西区)：より上層階 バリアフリー対応

場合によっては地階から1階までになるかも でいいか

荒川主幹：そう

さわだ晃一(公明・西区)：なぜそう説明したのか理解できない

明らかに5階までがトップ

事務的な積み上げは1階

どうして有識者会議に「地階から1階までになるかも」

検証委員会

そういう説明をしろという方針が決まっていたとしか思えない

事務的な積み上げを超える何らかの力があつた？

真逆の可能性 なんとなく担保

納得いく

分断を招いた要因 名古屋城木造復元「市長は手を引いて頂きたい」

市長の言動「1000年持つ、エレベーターは付けたく無い」

市民 昇降装置付かないだろうな

齟齬が

両方とも期待する

・市長の話

・事務方の話 コンペ 上まで付く

統一をしてこなかった 私はそう思う

いい加減、分断、対立を煽って自分の支持を集める

名古屋城木造復元を切り分けて

「庶民と役人」

「知事と市長」

「国と名古屋市」

エレベーターつけたくない肌感覚 多い

市民アンケート 昇降装置 多数になるのではという見通し？

地階から1階までと明記して、当日を迎えた

推論

コメントを求めるのは、、、感想を教えて

佐治局長：進める上でいろんな意見

・エレベーター付けて

・焼失前を忠実に

両立し得ない

行政の役割 双方の歩み寄り 落としどころを探っていく

1階 あるのかも

合理的説明 個人的に持ち合わせていない

さわだ晃一(公明・西区)：衝撃的な言葉を市民から聞いた

「わがまま、ずうずうしい、我慢せえ」飛び出した

言葉は戻ってこない

市民団体 障害者団体から「市長もそう思っているんでしょう」

市民から出てしまったのは不幸
障害者施策の大きな後退
議会の努力も足りなかった 浮き彫りになった
いったん終わる

浅井正仁(自民・中川区)：局長から「進めない」
なにをもって進めるのか
どうしたら進むのか

佐治局長：検証を行う
第三者委員会を含めて
検証が終わって、総括ができてから、進め方再検討
前に進めない

浅井正仁(自民・中川区)：今回のバリアフリー市民討論会
位置づけはどうするのか
局長「差別、人権侵害と考える」
6/3 バリアフリー市民討論会
僕は無効でいいと思う
局長も同じ考えか

佐治局長：検証を通じて最終的な総括をしたい
結果を持って反省 最適な道筋を考えたい
得たものもある

浅井正仁(自民・中川区)：また、討論会やるつもりか

上田所長：討論会という形式がふさわしいかも検討
市民に情報提供
お考えやご意見を伺いたい

浅井正仁(自民・中川区)：よくわからない

上田所長：討論会という形では無い形だとももう
情報提供は必要

浅井正仁(自民・中川区)：市民説明会 一方的？

上田所長：討論では無く、市民の意見を頂戴する

浅井正仁(自民・中川区)：また分断が起きるかも
あなたたちは制止すればいいのか
どういう制止をしてやっていくか
今からの検証

上田所長：まだ十分に考えが及んでいない
技術的な検証 昇降技術 詳細な情報を市民に提示
どこがどういう風に昇降技術設置 影響
史実に忠実 整合できるのかできないのか
情報を示しながら
付ける付けない 歩み寄りができるか
意見交換は開催出来れば

浅井正仁(自民・中川区)：その前にやることは、
被害者、今回発言で傷ついた方々をどうするのか
健康福祉局 岡田委員「DVD 見て吐きそうになった」
市民の声「差別発言 名古屋がどんなところか知った。
大勢で一人をつるし上げて恥ずかしくないのか」
名古屋市民はそう思われている。
この問題 本当は人権と差別の話
傷ついた人の心を置き去りにしない

浅井正仁(自民・中川区)：エレベーター
率直に聞くが、5階まではいけるの？

荒川主幹：公募により書類 実績 考え方
最低1階 さらに

浅井正仁(自民・中川区)：僕が聞いているのは5階まで行けるのか

荒川主幹：課題、建屋 明確には

浅井正仁(自民・中川区)：それが決まってから提案して

上田所長：開発を進めながら メドが必要

浅井正仁(自民・中川区)：1 回復元したら工事できない
仮にそれを想定して作るなら作れるかも
間違っているか

上田所長：ご指摘の通り

浅井正仁(自民・中川区)：詳細な提案者ができる
聞いてから作ったっていいのでは
仮に1階 普通のエレベーターでいいじゃん
世界公募やる必要は無かった

上田所長：通常の11人乗エレベーター スペースの問題
必ずしもそうではない
ホームエレベーター 絶対できないわけではない

浅井正仁(自民・中川区)：既存の方がはやくできるのでは

上田所長：より上層階

浅井正仁(自民・中川区)：5階までは要検討 1階までは新技術
わざわざ新技術つかわないといけないのか

上田所長：公募しなくても1階までは行けたのでは？

浅井正仁(自民・中川区)：1階じゃ無いんだよね

佐治局長：1階では無いと事務を進めてきた

浅井正仁(自民・中川区)：技術提案者はいつまでに提案してもらえるのか
変えたのが面白くない

上田所長：建築主幹から 建築技術 より上層階
取り合い 場所をどこに設置するのか
安全上の支障 実際の昇降機の設置階
提案者だけで無く竹中工務店との協議を踏まえた設計

浅井正仁(自民・中川区)：技術提案でしょう
梁、把握して公募している
そうすると、所長が言ったのはおかしいと思う

上田所長：提案上は上層階を目指す
図面 ここで設置できるだろう
具体的に様々な問題
詳細を検討しないと

浅井正仁(自民・中川区)：よくわからない
詳しい話を控え室で 図面もって

さわだ晃一(公明・西区)：構造取り合い、安全性確認
いったい何階までつけるのか
物理的に可能な限り昇降
バリアフリー決まる、柱、梁影響ない
安全性どうなのか
検証委員会
バリアフリー解決しない限り、昇降装置の場所、階数
きちんとした整備計画は無理ですよ

荒川主幹：文化庁から「昇降技術をどの階、どこに」
復元原案に書いてきなさいと指導を受けている

さわだ晃一(公明・西区)：つけないならいい 史実に忠実
上に延ばすと、変更になる
全体的に見て、復元なのか、復元的整備 材料の一つになるのか

荒川主幹：復元基準 配慮基準 防災、火災
バリアフリーについては書いていない
バリアフリー 昇降技術を付けても、有識者にお伺い
柱・梁を傷つければ復元と見なせると

さわだ晃一(公明・西区)：何階までつくのか出してと文化庁から言われている
市民討論会 検証が済まなければバリアフリー着手すべきで無い
遅れざるを得ないよね

佐治局長：ご指摘の通り

さわだ晃一(公明・西区)：遅れた責任は
転嫁しないでほしい いろんな人たちに
事務の積み上げ、政治的発言をいっぱいする人
この責任がだれにあるのか 真摯に受け止めて

佐治局長：今回の市民討論会 我々のミス
バリアフリー方針 事務方方針合理的に説明できていない
クリアしていきたい

北角嘉幸(減税・千種区)：検証委員会 いつまでに終わるつもりか

佐治局長：これから立ち上がる 申し上げられない

北角嘉幸(減税・千種区)：1年間延びると、どれくらい費用がかかるか

佐治局長：1年遅れると、木材保管費1億円かかる

北角嘉幸(減税・千種区)：できるだけ速やかに立ち上げて

浅井正仁(自民・中川区)：速やかにやるっておかしくない？
あなたたちがやるの？
スポーツ市民局がやる
委員間討論を希望する

委員長 田山宏之(減税・北区)：皆様にお諮りする

浅井正仁(自民・中川区)：北角委員
材木が加算
検証委員会を早くしろ
傷ついた人より材木が大切

北角嘉幸(減税・千種区)：そうは申ししていない

浅井正仁(自民・中川区)：どういうつもりか

北角嘉幸(減税・千種区)：事実がどうか検証
事業が遅れる 費用がかかる
はやく作って欲しいという市民
すみやかに立ち上げた方がいい

浅井正仁(自民・中川区)：否定 78 件
肯定 10 件
どこが「はやく作って欲しい」
差別、障害を大切にしろ
だれが言ったのか

北角嘉幸(減税・千種区)：市民にはそういう声がある
検証はやく

浅井正仁(自民・中川区)：スピーディーにやって何の意味がある
しっかり

北角嘉幸(減税・千種区)：立ち上げを早く

浅井正仁(自民・中川区)：なぜ材木の話しをするの

北角嘉幸(減税・千種区)：人権の問題は共通の認識 あえていうまでもない

さわだ晃一(公明・西区)：完全に聞こえた お金の方が優先
今回は、分断が起きている
丁寧に解きほぐさないと、妥協点は見いだせない
委員会、財政、総務
市を挙げて根幹の発言

北角：早く立ち上げて

さわだ晃一(公明・西区)：答えになっていない

北角嘉幸(減税・千種区)：金額を大切にとは一度も行っていない

さわだ晃一(公明・西区)：委員長答えさせて

なぜ延びることによってお金の話しを話をしたか

委員長 田山宏之(減税・北区)：答弁して

北角嘉幸(減税・千種区)：いろんなこと
一番大事なのは人権

さわだ晃一(公明・西区)：結論 いつごろになるのか
わかるわけがない
なぜ聞くか

北角嘉幸(減税・千種区)：問題はいつ立ち上がるのか

さわだ晃一(公明・西区)：なぜいつ頃結論が出るのか
人権検証よりお金が大事
費用がかかること
なるべくスピーディーに 聞こえたの

北角嘉幸(減税・千種区)：そういうことは考えていない

さわだ晃一(公明・西区)：どれだけ

浅井正仁(自民・中川区)：委員長はどう聞こえた

委員長 田山宏之(減税・北区)：所管とははずれる

浅井正仁(自民・中川区)：どう聞こえたか 仕切る立場で

委員長 田山宏之(減税・北区)：木材発言 著しく外れた

浅井正仁(自民・中川区)：聞いていたか？

北角委員 材木 費用がかかる
検証委員会 はやくやって早く終わらせろと聞こえた
どう聞こえたか

委員長 田山宏之(減税・北区)：なるべくスピーディーに進めるように

浅井正仁(自民・中川区)：逃げずに答えろ

経済水道委員会委員長だぞ

何逃げているのか

真剣にやる気やるの？

総務環境、財政福祉

委員長頑張っている

なにあなた 今日も聴いてないのか

今日も聞こえなかったのか

委員長 田山宏之(減税・北区)：資材、木材高騰 スピーディー

浅井正仁(自民・中川区)：高騰はっていない

いい加減にしろ

さわだ晃一(公明・西区)：動議

委員長 うまくいくとは思えない

対応 あまりにも人権意識

混乱を招いた責任がある

委員長 あなたに不信任案を提出する

委員長 田山宏之(減税・北区)：ただいまの不信任案

私の一身上の問題

上村副委員長に任せ、退席する

副委員長 上村みちよ(自民・東区)：進行確認中 少々お待ちください

不信任動議 起立

多数 可決された

進行の都合上暫時休憩

16：54